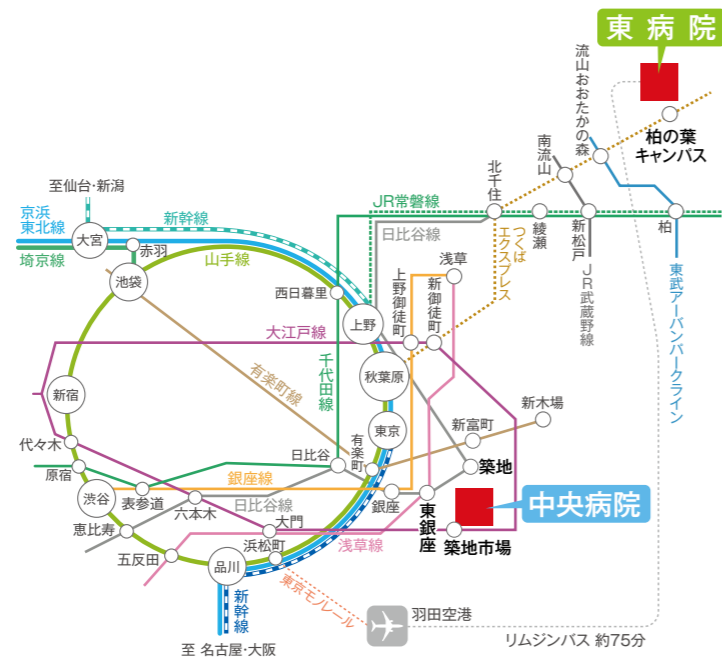


ROUTE MAP



- | | |
|------|---|
| 中央病院 | <ul style="list-style-type: none"> ● 都営地下鉄 大江戸線「築地市場駅」A1出口から徒歩約3分 ● 東京メトロ 日比谷線「築地駅」2番出口から徒歩約5分 ● 東京メトロ 日比谷線、都営地下鉄 浅草線「東銀座駅」6番出口から徒歩約6分 ● 東京メトロ 有楽町線「新富町駅」4番出口から徒歩約9分 |
| 東病院 | <ul style="list-style-type: none"> ● つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」西口から <ul style="list-style-type: none"> ・ 東武バスで約6分「国立がん研究センター」下車 行き先:「流山おおたかの森駅東口」行 「江戸川台駅東口(国立がん研究センター経由)」行 「東大西」行 ● タクシー 5分から10分 ● JR常磐線・東京メトロ千代田線・東武アーバンパークライン「柏駅」西口から <ul style="list-style-type: none"> ・ 東武バス「国立がん研究センター」行 約30分 ・ タクシー 20分から30分 ● 羽田空港リムジンバス柏駅西口行 約75分「国立がん研究センター」下車 |

All Activities for Cancer Patients

職員の全ての活動はがん患者のために!



National Cancer Center

国立がん研究センター 中央病院

National Cancer Center Hospital

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 tel.03-3542-2511(代)

国立がん研究センター 東病院

National Cancer Center Hospital East

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1 tel.04-7133-1111(代)



国がん中央 看護部

www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/nursing/

国がん東 看護部

www.ncc.go.jp/jp/nccc/division/nursing/



National Cancer Center

▶がん看護を極めようとするあなたへ

がん看護に あなたの「チカラ」が必要です



がん患者さんに寄り添うということ

がんの治療は高度化し、生存率は高まっているものの、がん患者さんは心にさまざまな不安を抱えながら闘病しています。治療が長期にわたるケースも多く、治療の選択肢が増えれば増えるほど期待と不安の間で葛藤します。そして、患者さんは治療を受けながらも、仕事や勉強など生活を成り立たせる必要があり、看護師による看護にとどまらないプロフェッショナルな支援が必要です。

チーム医療の要を担う看護師

私たちは、「All Activities for Cancer Patients」(職員の全ての活動はがん患者のために!)をスローガンに掲げ、多様な職種が協力し合い、患者さんの将来と希望を支えるチーム医療の提供に努めています。私たち看護師はがん患者さんと真摯に向き合い、チームメンバーをつなげる存在として、心身両面を全力でサポートします。

理想を求め学び続けるチカラ

がん看護はやりがいもあり、誇りを持って取り組める仕事です。だからこそ看護師の一つ一つの行動は、揺らぐことのない知識や技術、コミュニケーション力、倫理観などに裏打ちされていなくてはなりません。人間的にも技術的にも高い理想を追求し、学び続けるチカラが必要です。がん看護のプロとして患者さんの人生に関わる。看護師としての第一歩を、がん看護の現場から踏み出してみませんか？



▶中央病院を選んだワケは？

患者さんへのアピランスケアに
力を入れていたからです

祖母もがん、今では元気な母もがんにかかりました。私が卒論でアピランスケアをテーマにしたのは、母が治療による外見の変化を気にしていたからです。この病院が患者さんの外見の苦痛に配慮する患者さん思いの病院だと知り、入職を決めました。専門病院のスタッフはドライな人が多いのかと思っていましたが、とても温かく、入って良かったと思います。

千葉 莉々

中央病院 15A病棟
(婦人腫瘍科、大腸外科、腫瘍内科)
2023年度入職
聖路加国際大学卒

▶活躍の場はどこ？

がん医療の最先端、 2つの国立高度専門医療センターが舞台

▶東病院を選んだワケは？

働く人がすてきだったので
長く働けると思ったからです

ひとつは緩和ケアに携わりたかったこと。また、長く働くには、周りの人に分からないことや不安なことを聞けるか、忙しくても良い関係で働けるかが重要だと思っていました。インターンに来てその心配事は解消しました。看護師さん同士の声がけややりとり、皆さんの表情、学生の私への接し方がとてもすてきだったので、東病院への入職を決断しました。

山形 友希

東病院 7B病棟
(肝胆膵内科、肝胆膵外科、大腸外科、
泌尿器・後腹膜腫瘍科、婦人科)
2023年度入職
東北大学卒



中央病院 東京都中央区

- 看護理念** 日本のがん医療を牽引する組織の一員として、社会のニーズを見据えたがん看護の発展に努める
- 基本方針** 実践:社会や患者のニーズに応じた看護実践モデルの推進と創造
人材育成:日本のがん看護を担うリーダーの育成
研究:看護実践の成果を明らかにし、患者および社会に還元できるがん看護を追求する
- 病院概要** 開院:1962年/病床数:578床/職員数:約2,000名/看護師数:670名/
- 看護体制** [看護単位]一般病棟15看護単位、ICU、手術室、外来2看護単位
通院治療センター、患者サポートセンター
[勤務体制]二交替制
[看護配置]7:1
[看護方式]固定チームナーシング・モジュール型継続受持

[診療科] ●中央病院 ●東病院

脳脊髄腫瘍科 ●	大腸外科 ●●	リハビリテーション科 ●●	集中治療科 ●●
眼腫瘍科 ●	消化管内科 ●●	感染症科 ●●	緩和医療科 ●●
頭頸部外科 ●●	消化管内視鏡科 ●●	皮膚腫瘍科 ●●	精神腫瘍科 ●●
頭頸部内科 ●●	内視鏡科 消化管内視鏡 ●	血液腫瘍科 ●●	放射線診断科 ●●
頭頸部・食道内科 ●	内視鏡科 呼吸器内視鏡 ●	造血幹細胞移植科 ●	放射線治療科 ●●
形成外科 ●●	肝胆膵外科 ●●	小児腫瘍科 ●●	病理診断科 ●●
乳腺外科 ●●	肝胆膵内科 ●●	小児腫瘍外科 ●●	臨床検査科 ●●
腫瘍内科 ●●	泌尿器・後腹膜腫瘍科 ●●	総合内科 ●●	病理・臨床検査科 ●●
呼吸器外科 ●●	婦人科 ●●	循環器科 ●●	先端医療科 ●●
呼吸器内科 ●●	婦人腫瘍科 ●●	歯科 ●●	脳神経外科 ●●
食道外科 ●●	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 ●●	麻酔・集中治療科 ●●	眼科 ●●
胃外科 ●●	骨軟部腫瘍科 ●●	麻酔科 ●●	

東病院 千葉県柏市

- 看護理念** がんの最先端医療を担うチームの一員として役割を果たし、がん看護の発展に努める
- 基本方針** 1.患者の生命の尊厳と権利を尊重し、信頼関係を大切に安らぎのある看護を提供する
2.看護の本質を追求し、科学的・創造的な看護を実践する
3.臨床研究を推進し、がん看護の新たな情報を発信する
4.がん看護のリーダーとして活躍する人材を育成する
- 病院概要** 開院:1992年/病床数:425床/職員数:約1,700名/看護師数:505名
- 看護体制** [看護単位]一般病棟8看護単位、ICU、緩和ケア病棟、手術室、外来、
通院治療センター、内視鏡センター、サポーターケアセンター
[勤務体制]二交替制
[看護配置]7:1
[看護方式]固定チームナーシング・受け持ち看護師制

▶ 国立がん研究センターの就職先としての魅力は？

4つの魅力をご紹介します

今や国民の半数ががんにかかる時代。医療が進化したとはいえ、大半の人はがんの罹患に不安を覚えます。1962年、「社会と協働し、全ての国民に最適ながん医療を提供する」を理念に、わが国のがん対策のけん引役として設立された当センター。がんを消滅させることはできなくても、がんに負けない社会、がんと生きる社会を築くことができます。私たち国立がん研究センターの全職員は、それが国民の幸福につながるという使命感でここで働いています。では「国立がん研究センター」ならではの特長や就職先としての魅力は何でしょうか？ 4つのポイントをご紹介します。



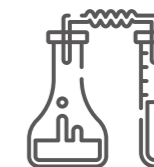
Point 1 [先端医療]



国民の2人に1人ががんにかかる時代
がん専門病院で最先端のがん看護を追求できます

国立がん研究センターは、世界でも最先端の医療の提供に努めています。例えばゲノム情報に基づき、個人に最適化された治療を探索。希少がん・難治がんを克服するために治験・臨床研究に取り組むほか、開腹手術で培った知識と技術を内視鏡手術やロボット手術などに応用し、身体によりやさしい低侵襲治療にも積極的に取り組んでいます。がん医療の最先端の現場で、がん看護に携われることは、多くの他の病院では経験できない利点だといえます。

Point 2 [研究開発]



医師主導治験指定病院として臨床試験を推進
看護の研究開発に携わることができます

当センターはがん医療の「臨床研究中核病院」に指定されており、最先端の臨床研究や難病に関連した医師主導治験に取り組んでいます。例えば、早期臨床試験やゲノム医療の臨床への応用を実現させるため、他に例のない革新的な医薬品や医療機器の開発にも携わっています。さらに、がん患者さんの苦痛を軽減する支持療法やがん看護の研究・開発も当センターの使命です。がん看護の現場で働きながら、治療や看護の研究・開発に関われるのは魅力の1つです。

Point 3 [教 育]



がん看護の臨床実践の現場で主体的に考える力や
スキルを身に付けることができます

当センターは、がん医療に携わる日本全国の医療従事者の知識技術の向上のための教育支援と、当センターの看護師の育成の両面に力を注いでいます。医師、看護師、薬剤師など、研修で当センターに来ているさまざまな専門職との交流を通じて、全国のがん医療の状況を知ることができます。また、当院のがん看護師教育を通じて、チーム医療の推進に必要な、主体的に考え、部門間連携をリードするスキルを身に付けることができます。

Point 4 [チーム医療]



専門家チームで患者さんを支援するがんチーム医療
その要として部門間連携を経験することができます

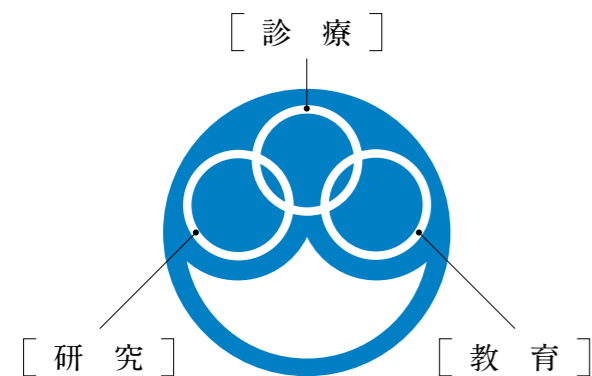
当センターの「チーム医療」は、医師と看護師同士で行う治療や看護のみならず、入院の準備や退院後の患者さんの心身のサポート、生活維持のための社会的なサポート、治験を選択する場合に必要なサポート、若年層に寄り添うためのサポートなど、個々の患者さんの状況に合わせて専門職員が連携し提供する「総合的支援」を指しています。その連携の要となるのが看護師です。この経験はきっとあなたの大きな財産になります。

魅力① 国立がん研究センターで働く魅力は？

がん医療の最先端現場で活躍できること

国立がん研究センター中央病院・東病院で働く1番の魅力は、がん医療の最先端現場で活躍できることにあります。国内はもとより、国際的に見てもがん医療をリードする「診療」「研究」「教育」に日々触れることができること。具体的にどのようなことなのでしょう？一緒に見ていきましょう。

▶ ロゴマーク



国立がん研究センターのロゴマークの基本要素は、「癌」という文字からヤマイダレを取り除き、図案化したものです。外側の大きな輪は患者・社会との協働を、3つの輪は①診療 ②研究 ③教育を表しています。

▶ スローガン

革新への挑戦と変革

Novel Challenge and Change

職員の全ての活動はがん患者のために！

All Activities for Cancer Patients

〔 診 療 〕

国立がん研究センターの中央病院、東病院は、さまざまな点でわが国のがん医療をリードしてきました。

昨今は、がんゲノム医療中核拠点病院として、「がんゲノム医療」をけん引しています。

また、手術・検査などに伴う痛み、発熱・出血などをできるだけ少なくするための、内視鏡やカテーテル、ロボットやIVR、AIなどを駆使した高精度な「低侵襲がん治療」の領域でも豊富な実践事例を有します。

いまだ治療法の見つからない希少がんもありますが、医療は日進月歩で進歩しており、私たち看護師も未来のがん医療を患者さんとともに築きたいという思いで、日々研さんを積んでいます。

〔 研 究 〕

臨床研究中核病院である当院の看護師は、「臨床研究」でも貢献しています。臨床研究には、予防や診断、治療法などについて効果や安全性を確認するために行う「臨床試験」と、新しい医薬品や医療機器などについて国の承認を得るために行う「治験」があります。社会的使命感から治験に参加された患者さんであっても、不安は多く、副作用への対処が必要な方もいます。

こうした看護では、患者さん個人の人生の背景を把握しながら、気持ちを支え、つらさを緩和させるケアが重要です。看護師として、新しい治療法や薬が生まれてくる過程に立ち会えることは大きなやりがいです。そういった体験ができるのも、当院ならではの魅力です。

〔 教 育 〕

当センターでは、院内職員への教育はもちろん、国内・国外のがんの医療従事者や行政のがん対策担当者、患者さんや家族に対して研修や講座を提供するなど、人材育成や知識啓発に努めています。特にスペシャリスト教育では、がん医療の現場で、主体的に考えリードできる人材の育成に力を注いでいます。

また当センターは、がん診療連携拠点病院に対する研修やフォーラムを通じて、誰もが標準的専門医療を受けられるよう知識や技術の均てん化に努めています。

同様に、看護教育にも尽力しており、がん治療に伴う看護や緩和ケア、コミュニケーションスキルなど、テーマ別にさまざまな学習機会を提供しています。

▶ 低侵襲手術

ロボット支援手術



患者の体への負担が少なく、早い回復が期待できる「低侵襲手術」の一環として、当院では手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、安全かつ質の高い手術を提供している。

▶ 新たな治療法

光線力学療法・光免疫療法



光線力学療法・光免疫療法はがん細胞だけに付着する薬剤を投与した後、薬剤にレーザー光を照射することで、がん細胞を破壊する。今後の広がりが期待される。

▶ 治験

治療薬開発



治験や臨床研究を展開する当院では、「医師主導治験」も推進している。製薬企業が開発しにくい医薬品の開発や、既存医薬品の適用範囲拡大にも寄与できると考えている。

魅力② 国立がん研究センターで働く魅力は？

チーム医療の要として活躍できること

国立がん研究センター中央病院・東病院で働く第2の魅力は、さまざまな専門職と連携する「チーム医療」が先進的で、しかもその中で中心的役割を果たすことができる点です。プロフェッショナル同士、最善を尽くすために意見を交わすことは、刺激的で大きな学びとなります。どのようなチーム医療が行われているのでしょうか。

患者サポートセンター サポーターケアセンター

多くの患者さんは、仕事、学業、出産などさまざまな不安を抱えています。センターでは、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、リハビリ職種、医師などの院内専門職や、地域との関係機関と連携を図り、患者さんと家族を支援します。看護師は、不安や悩みなどの情報を吸い上げ、関係者につなぐ役割を担います。



入院準備外来

患者さんと家族が安心して治療に専念できるようにするために、入院準備外来では看護師が患者さんと面談を行います。看護師は、治療の内容や流れを説明し、不安や心配事を聞き、患者さんの身体状況が生活に与える影響などについてアセスメントをします。病棟との情報共有はもちろん、入院前からさまざまな関係専門職と連携しながら支援します。



緩和ケアチーム

さまざまな専門職で構成される緩和ケアチーム。ここでは痛み・悪心嘔吐・呼吸困難・倦怠感・浮腫などの身体的症状のケアや、不安、苦痛、せん妄、不眠など精神的症状のマネジメントが、大きなミッションです。そのほか、意思決定やスピリチュアルペインなど心理面の支援や、医療者向け支援なども行っています。



サバイバーシップ支援

がん経験者は、再発への恐怖と孤独感のもとより、外見の変化、パートナーや周囲との関係、出産・育児、就学・就労など、がんがもたらしたさまざまな課題を抱えて生きています。それらを社会全体で乗り越えようとする考え方がサバイバーシップです。当院では、さまざまな活動を通じてサバイバーを支援しています。



倫理コンサルテーションチーム

終末期の鎮静、妊孕性、告知、同意能力の判断など、スタッフ間で方針や見解が分かれているときや、これでもいいのかな？ともやもやするとき、チームメンバーと現場のスタッフが、「患者さんにとっての最善は何か？」を話し合っています。臨床倫理上の課題が解決されることで、現場では患者さんのための支援がしやすくなります。



看護部

治験・臨床研究

当センターは、より優れた医療技術をいち早く患者さんに届けるため、治験・臨床研究を行っています。看護師は医師・臨床研究コーディネーター（CRC）・薬剤師など関係専門職と協働し、研究計画に沿った投与や観察、意思決定支援を行います。研究に参加している患者さんへの看護を通じて、未来の医療を前進させています。



AYA 世代がん患者サポート

AYAとは、思春期から若年成人までの15歳から39歳の世代を指します。この年齢層では小児がんと成人がんの両方のリスクがあるほか、世代特有のがんも存在します。中学生から社会人、子育て中など、たくさんのライフイベントと個々のニーズに合わせた支援を行うには、医師・看護師ほか多様な専門職の連携が不可欠です。

※AYA:アヤ、Adolescent & Young Adultの略



▶目指しているのはどのような看護師?

ワンランク上の専門性を追求

すでにご紹介してきたように、当院は「人材育成」に力を入れており、最高水準の知識や技術を身に付けられるように、多角的かつ体系的なカリキュラムを組んで教育を行っています。具体的にはどのような看護師の育成を目指しているのでしょうか？特徴をご紹介します。

看護師教育の特徴

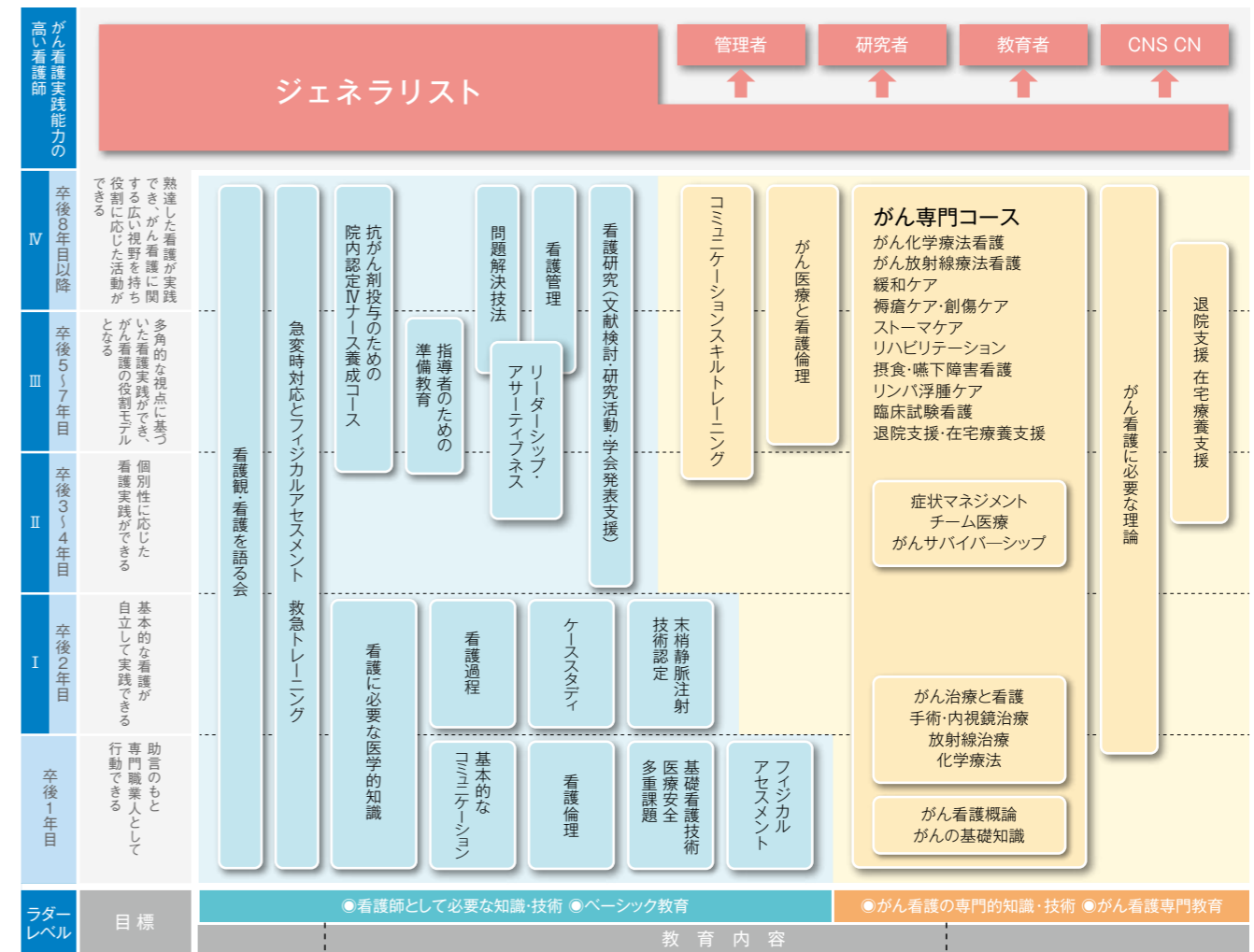
1 専門的な知識・技術を実践に生かす

私たちは、患者さんの身体面、精神面、社会面など全人的苦痛を緩和し、さまざまな意思決定支援ができる看護師の育成を目指しています。またAYA世代に多いがん、希少性の高いがんなどにも対応できる、より専門性の高い知識や技術を持った人材の育成にも努めており、専門看護師や認定看護師を多数輩出しています。

2 看護師として、人として、学び続ける

医療環境の急速な変化に対応するために、看護師には新しい知識や情報、技術を常に探求し続ける姿勢が求められます。また、看護師としての成長のみならず、人間的な成長も不可欠です。患者さんの気持ちを受け止め、心からの支援を行えるように、教育を行っているほか、院内の職員同士が切磋琢磨しながら人間性を育んでいくことを大切にしています。

[中央病院・東病院 共通プログラム]



看護師としての成長

看護師として必要な知識・技術・態度を基礎から段階を踏んで学びを深めていきます。
患者さんが抱える疾患や急変対応など、がん以外のことも学び身につけることができます。
看護師を続けるうえで大切なことは、知識や技術だけではなく、“患者さんにどのような看護をしたいのか”という自分の看護観や倫理観です。自律した看護師になるための教育プログラムです。

がん看護の実践者としての成長

がん専門病院ならではの最新のがん医療・がん看護に関連する研修プログラムです。
院外でも活躍する専門看護師や認定看護師が講師を務めます。研修は座学だけではなく、臨床での実践とつなげることで、より深く学ぶことができます。
がん専門病院である当院は、研修で学んだことを臨床の中で生かやすく、自分の学びが患者さんのためになることを実感できると思います。

▶入職後の1年間の流れは？

自律に向けて集合教育とOJTで学ぶ

プロの看護師としてバリバリ活躍したい…、患者さんと上手に関わっていけるだろうか…など、期待も不安もあることでしょう。がん看護では知識も技術も大切ですが、新人看護師にとっては、自分のカラダとココロが元気であることも大切です。くじけてしまうようなことがあって落ち込んでしまっても、周りの人の力を借りて、前を向いて進んでいけば大丈夫。私たち看護部は、新人看護師をみんなで大切に育てます。1年目はどうやって成長ステップを歩むのか、1年間で過ごす上で大切なことは何なのかについてご紹介いたします。

入職後1年間の流れ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修名称	□入職オリエンテーション □基礎看護技術研修	□1カ月の振り返り		□コミュニケーション研修	□多重課題対応研修 □リフレッシュ研修			□フィジカルアセスメント □リフレッシュ研修	□シミュレーション研修	□集合研修 (看護過程の展開)	□集合研修 (がん治療・看護)	□集合研修 (看護観・死生観)	□1年の振り返り □リフレッシュ研修 □シミュレーション研修
	技術実践	基準・手順に基づいた技術実践演習											
OJT	夜勤業務	夜勤シャドー			夜勤トレーニング			夜勤開始			自立して夜勤ができる		
	急患対応	救急トレーニング											
習得内容や目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会人生活や看護師の生活に慣れる ● 業務における基準・手順を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ● がんの基礎知識、治療と看護など、研修で基礎的な知識・技術を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者さんとの基本的なコミュニケーションスキルを習得し、相手に合わせた看護が実践できる ● チーム医療に必要なコミュニケーション能力を高める ● 自己の課題を明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数の事柄を同時に遂行する多重課題への対応スキルを習得する ● 共同体験を通して親睦を深め、仲間と語り合うことで自己啓発・リフレッシュの機会とする ● 夜勤の業務を、支援を受けながら習得し実践する 			<ul style="list-style-type: none"> ● 患者さんの身体検査や状態観察などの基礎的実践力を身に付ける ● 同期の仲間と語り合い、これまでの自分のがんばりを認める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際の臨床場面を再現した状況で、課題を体験し、デブリーフィング(振り返り議論)を通して知識・技術・態度の統合を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ● がん治療と看護の知識・技術を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師として自らのあるべき姿を描くため、看護観や死生観を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身の成長の軌跡を確認し、次なる課題を明らかにする ● 同期の仲間と互いを認め合い、心身の充実を図る 	



入職オリエンテーション



基礎技術研修(ポンプの使い方)



基礎技術研修(口腔ケア)



基礎技術研修(採血)



リフレッシュ研修(アロママッサージ)



褥瘡予防研修



フィジカルアセスメント



村田 長子
東病院 教育専従看護部長

「安らぎのある看護」をベースに自分の目指す看護師像を確立してほしい

当院では、全スタッフが「職員の全ての活動はがん患者のために」というスローガンを体現しており、また看護部で重んじている「安らぎのある看護」を具現化できるように、看護教育を行っています。

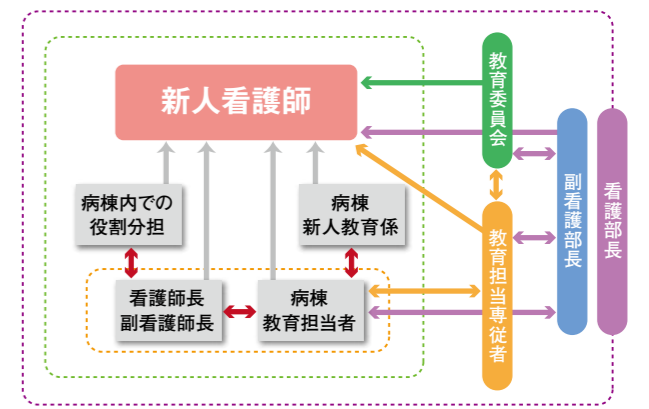
「安らぎのある看護」とは、がん患者さんとその家族が自らの意思で治療やケアを選択できるようにすること、さらに優れた専門知識と技術で苦痛を緩和し、揺れ動くがん患者・家族の心に寄り添う看護を提供することを指します。

この看護観をベースに自分の看護観を語ることでできる看護師の育成を目指し、3年間の基礎教育を行います。がん看護に関する知識・技術のみならず、1年目は死生観、2年目は看護観、3年目は倫理観という形で、

自分の理想とする「安らぎのある看護」を考え、自らの看護師像を確立していきます。

当院の人材育成は、医師、ソーシャルワーカー、リハビリ担当など、さまざまな職種の人たちと連携しながら、病院全体で取り組んでいます。誰もが患者さんのことを第一に考え、実践しており、看護師同士もお互いに支援し合っているなど、教育体制がとても充実しています。また、自分のモデルとなる先輩看護師と出会うなど、自分の看護師像を描きやすく、成長につながる環境だと思います。最初は、できるかどうかと不安を感じるかもしれませんが、みんなで支援していくので、安心して入職していただきたいです。

[新人教育支援体制]



看護部ではスタッフ全員が連携し新人看護師一人ひとりを大切に支援します

▶「見る力」をどのように養う？

キャリアに合わせて多彩なテーマで学ぶ

キャリアラダー制度を導入し、目標をもって、学ぶこと、経験すること、活躍することをサポートしています。看護の基本から学び、がん医療・看護以外の分野の幅広い知識・技術も身に付けながら、それぞれが目指す看護師像に近づいていけるよう、多彩なテーマで学び続けることができます。

基礎からしっかり学習

看護師に必要な知識や技術は、段階的に学習していきます。集合研修で学び、臨床の中で先輩の実践を見学し、自分の実践を見守ってもらい、1人でやってみる、というようにステップバイステップで身に付けていけるので安心です。個々で使えるeラーニングシステムが整っていて、エビデンスを基に学ぶことで自分の自信につなが

ります。

当院の看護師は、さまざまな研修や毎日の臨床での経験を学ぶの機会とし、周囲からたくさんの影響を受けて自分の看護師像を深化させ、自分自身も成長していきます。当院の学習指導では、看護師一人ひとりに丁寧に関わり、個々が目指す看護師像に向けて成長を支援しています。

患者さんの意思決定支援のための学習も

がん患者さんは診断されたときから、治療のことや生活の仕方などさまざまな選択をしなければなりません。患者さんの意思を尊重した医療を行うためには、患者さんや家族の本当の思いや願いを知り、理解することがとても重要です。初めてがんと言われるとき、がん治療の説明を受けるとき、再発の可能性を説明されるとき、積極的ながん治療が

できなくなったとき…。患者さんや家族はどのような思いをされているのでしょうか。

がん医療に携わる看護師として病気や治療に関する正しい情報を持つだけでなく、患者さんや家族の言葉や表情などから気持ちや思いを汲み取り理解する力や、患者さんや家族の思いが叶えられるように調整する力なども養っていきます。

充実したマネジメント教育

マネジメント教育は管理者のための研修ではなく、すべての看護師のためにあります。看護師には、医療安全のための行動や時間管理、多職種と協働する力、組織の問題を解決する能力などが求められます。それらを養うため、看護のあるべき姿を見出して部署の課題の解決を図る実践型の研修を行っています。それぞれの部署での成果は、ベストプラク

ティスとして標準化され、看護の質の向上を生んでいます。さらに部署内のさまざまな改善活動は、患者さんへの成果に加えて、看護師の働きやすさにもつながっています。



管理研修

医療全般を網羅的に学ぶ

がん医療だけでなく、医療全般に関わる豊富な研修を通じて、幅広い知識・技術を身に付けながら、個々に異なる環境と身体の状態にあるがん患者さんへの「見る力」を育みます。病気や治療によって生じる症状のマネジメント、フィジカルアセスメントを活用した臨床推論、急変時対応、医療安全や感染管理、リハビリテーション、地域連携、

治験・臨床研究、ゲノム医療、臨床倫理、医薬品管理やME機器管理など、さまざまな分野の専門職の講義を聞いたり、参加者同士でディスカッションしたりして学びます。



急変時対応研修

スペシャリストコースも用意

当院には、看護のジェネラリストとしての十分なスキルを持ったうえで、がん看護分野の豊かな経験と卓越した実践能力を持ち、さらなる研さんを続けるスペシャリストがたくさんいます。患者さんと家族が主体的に療養生活を送れるよう支援するため、他の医療者とのチーム医療を通じてそれぞれの専門性を発揮します。そのスペシャリスト育成の

ために、がん看護領域の専門看護師や認定看護師などが企画・実施する専門研修コースがあります。がん化学療法看護、がん放射線療法看護、緩和ケア、褥瘡・創傷ケア、ストーマケア、リンパ浮腫ケアなどです。一部のコースは外部にも公開しているため、院内外のがん看護を学ぶ看護師同士の交流の場としても機能しています。

コミュニケーションスキル研修も

患者さんやそのご家族とのコミュニケーション、医療スタッフ間のコミュニケーションなどは、医療現場で欠かせない大切なスキルの1つです。新人看護師として入職後にも基本的コミュニケーションについて学びますが、どんなに臨床経験を重ねても、患者さんや家族の揺れ動く複雑な気持ちを受け止め、一緒に考え、対応していくことに対し、悩

んだり、迷ったりすることはあります。「NURSE」は感情表出を促すコミュニケーションのスキルです。このスキルを理解し、習得するための研修も開催しています。「NURSE」のスキルを講義とロールプレイを通して習得することで、患者さん・家族の感情表出を促し、ニーズを捉えて看護実践に反映することを目指しています。

▶どのようなキャリアアップ支援がある？

大学院進学など多彩な支援制度を用意

それぞれが描く看護師としてのあり方や、目指したいキャリアアップの姿に応じて、各種支援を行っています。

□大学院進学

研究休職制度を通じて、大学院進学の支援を行っています。2年間の休職中に給与の一部が支給され、また修了後は、学んだことを生かして当院で活躍することが期待されます。

□海外研修

がん看護専門プログラムを受講した上で、海外研修に参加可能な語学力があれば、海外のがん専門病院などでの実習に参加できます。

□院外研修

認定看護師教育課程、実習指導者講習会など、院外で研さんを積むための、さまざまな学びの場への参加を積極的にバックアップしています。

□研究支援

看護部には研究支援チームがあり、新たながん看護・支持療法などの研究がスムーズに進められるよう支援しています。



[大学院進学]

安川 弘平

中央病院 17B病棟
(呼吸器内科、呼吸器外科、肝胆膵内科)
がん看護専門看護師
2014年度入職
神戸市看護大学卒
神戸市看護大学大学院修了

正解のない問いと向き合った大学院での日々

多くのがん患者さんは、答えのない苦悩を抱えています。それを知っている看護師もまた苦悩します。私のがん看護専門看護師を目指したのも、正解のない問いと向き合うためでした。患者さん、家族、看護師、医師をどう捉えるのか、人としてどう見たらいいのか、大学院でとことん考えた体験は私の財産です。私は当初から「スタッフのためにもなる専門看護師」を目指して大学院に進学しました。仲間の看護師には、アドバイスするよりも一緒に考えることを大切にしています。少しはできていると思いたいのですが…笑。休職して大学院に進学できる病院は多くありません。看護で社会に貢献したい方にぜひ来てほしいです。



[大学院進学]

藤本 遼

東病院 緩和ケア病棟
老人看護専門看護師
2014年度入職
国立看護大学校卒
聖路加国際大学大学院修了

ここにはチャレンジできる環境がある

高齢者との関わりを大切にしてきた私に老人看護専門看護師の資格取得を勧めたのは、当時の師長でした。進学は、高齢の認知症患者さんの世界を知り、老人看護の専門知識を得たという点でももちろん有意義でしたが、良かったことはほかにもあります。例えば、それまでの自分がいかに井の中の蛙だったか気づけたり、必死に学んだからこそ働くことの素晴らしさを痛感したり。プレッシャーがある中、やり切ったことは自信にもなりました。最初はやりたいたいが明確でなくても、働くうちに自分の内側からチャレンジしたいことが出てきます。この病院なら周りがある意欲を後押ししてくれると思います。

▶どのような子育て支援がある？

時短や保育、職場全体で育児を応援



[育児休業]

池ノ谷 彩乃

中央病院 16B病棟
(肝胆膵外科、肝胆膵内科、胃外科)
2016年度入職
国立看護大学校卒

この病院は制度も風土も子育てに優しい

私は入職5年目で妊娠し2年間の育児休業を取得しました。育児中は夜勤のない外来勤務を希望する人も多いですが、私は、つらい時期を乗り越えて笑顔で退院していく患者さんの姿を見ることにやりがいを感じていたので、病棟に戻りました。この病院の良い点は、体制も風土も育児休業を取ることが当たり前になっていることです。自分で調べないと情報が見つからないということはなく、妊娠を報告した時点でいろいろな支援やケースを病院から提示していただきましたし、スタッフ同士の間でも温かなサポートがあるから病棟に戻れました。成長しながら、仕事を長く続けられる病院だと感じています。



[院内保育]

小松 有香

東病院 手術室
2009年度入職
千葉県立野田看護専門学校卒

院内保育園だからこその安心感が魅力

入職して6年目で1人目の子どもを出産し、産休育休を取りました。3人目の子どもを院内の「ひばり保育園」に預けながら、週5日、8時30分から17時15分まで手術室で働いています。実は3人とも「ひばり保育園」育ちです。家が遠かったので、最初はほかに選択肢がなく選んだのですが、とても良かったので2人目以降は即決しました。この保育園は少人数なので、先生がよく目配りをしてくれて、毎日様子を教えてくださいます。また何かあれば駆けつけられるのもいいですね。今は勉強時間がないのが悩みですが、それでも勉強会があったり、上司、先輩、後輩に相談しやすく、とても働きやすいと感じています。

□育児時間・育児短時間

「育児短時間」は小学校3年生以下の子どもを育てている職員を対象に、週19時間25分～24時間35分の短時間勤務を認める制度。「育児時間」は未就学児を養育する職員に勤務時間の短縮を認める制度です。勤務時間は、基本的に本人の希望で選ぶことができます。当院には、各種制度を活用しながら、子育てと責任のある仕事を両立させ、また学びを深める先輩看護師が大勢います。



□子育て支援ミーティング

子育て中・妊娠中・育児休業中の看護師たちが集まって、子育ての悩みを共有したり、先輩看護師の体験談を聞けるのが、情報交換の場「子育て支援ミーティング」です。年2～3回程度、開催されています。ミーティングには各病棟の看護師長なども参加し、職場全体で育児を支援する体制を整えています。中には先輩看護師に励まされ、仕事復帰を決断した看護師も少なくありません。



□24時間対応の院内保育園



中央病院、東病院とも24時間対応の院内保育園が併設され、0歳～6歳児の保育を行っています。職場に隣接しているので子どもの具合が悪いときにはすぐに様子を見に行けて安心です。職員の子どものみならず、いつでも入園可能なので心強い存在です。



やりがい① 先輩看護師の働きがいはどこに？

「患者さん」を看ることに徹したその中に…



島方 梨央

12A病棟
(小児腫瘍科、骨軟部腫瘍科、眼腫瘍科)
2022年度入職
日本赤十字看護大学卒



高橋 佳子

患者サポートセンターI
遺伝看護専門看護師
2004年度入職
学習院大学卒、東京都立板橋看護専門学校卒
慶應義塾大学大学院修了



大坪 裕太

ICU
(集中治療室)
2018年度入職
純真学園大学卒



渡辺 智美

13A病棟
(消化管内科、消化管内視鏡科、胃外科、乳腺外科)
がん化学療法看護認定看護師
2010年度入職
筑波大学卒

がんを看ることは、その人の全体を見ること

どんなことにやりがいを感じますか？

小学校低学年から看護師に憧れ、自分が患者さんと接する姿をイメージしながら学生時代を過ごしました。実習中にがん看護の奥深さに興味を持ち、がん専門病院を選びました。中でも小児科は大人の看護とは違う工夫が必要なため、例えば子どもたちが嫌いな薬を飲むときも自分のやり方で支えたいと思いました。

小児科で子どもたちの成長を日々感じるのがやりがいになっています。嫌がっていた薬を飲めるようになったり、自分の気持ちを話してくれるようになったり。私が工夫したことがその子にマッチして治療ががんばってくれるよう

になるのはとてもうれしいです。

中央病院では、医師、看護師だけでなく子ども療養支援士、保育士、心理士、また地域連携室などのチームで、成長発達段階に応じてがん治療をサポートしています。多職種のカンファレンスではさまざまな視点から意見交換が行われ、勉強になりますし刺激を受けることが多いですね。

自分が成長したと思うことは？

最初の頃は、子どもたちやご家族への声の掛け方や伝え方が分からず壁にぶつかり、先輩にたくさん話を聞いてもらいました。今、コミュニケーションの取り方が自分なりに分かってき

たところ。看護と直接関わりがある会話が全てではなく、夜勤で時間がある時に子どもと遊んだり、いろいろな話をしたりしながら関係を築くことで、子どもには治療を受け入れる意欲が生まれ、親御さんとの関係も良くなります。子どもの体と心の変化を、子ども自身やご家族と一緒に私が感じる事が大事だと思うのです。

がんを看ることは、病んだ臓器だけを見ることではなくて、生きて生活するその人の全体を見ること。がん看護の専門性を高めることができる当院は、看護師として大きく成長できる場だと感じています。

看護の新領域を切り開く

大学の文学部を卒業し、医療とは無縁の社会人経験を経て看護師になりました。入職してから長く病棟を経験しながら、何か得意分野がほしいと感じ始めた頃、遺伝看護専門看護師という新しい資格があることを知りました。当院の研究休職制度を利用して大学院に通い、資格を取りました。看護師として遺伝の領域にどのように介入できるのか、院内の研究班に所属しながら模索中です。遺伝の情報を生かし、個人個人の体質的な特性に合わせた治療が進んでいますが、看護師として関わる私は、患者さんの価値観も含め、個性を尊重した看護ができればと思っています。

いかに患者さんに集中するか

人の言葉には真意があり、それを理解することが大切…私には元来そんな信条がありました。でも、その奥深さに気づいたのは学生時代の実習です。終末期の患者さんに「お前は来なくていい」と言われたのです。自分の意識が相手ではなく、得たい知識に向いていたからでしょう。ICUでの当初も自分と人を比較してしまい、焦った時期もありました。ある時「あなたのペースでいい」と師長さんに言われ、救われました。以降、全ては患者さんのためにと心底思え、ICUでは小さな変化でも逃すまいと集中力が上がりました。今後も患者さんにフォーカスし、ベストを尽くしたいと思います。

つらい治療を専門性で支えたい

新人時代の私は、看護への熱い思いを抱くこともなくドライなタイプでした。5年目を過ぎ、考え直し始めたのは、あるプロフェッショナルとの出会いがきっかけです。私が1年かけて関わり、心を開いてくれた患者さんがいたのですが、異動してきた副師長が着任早々にその方から絶対の信頼を寄せられたのです。悔しかった。友だちのように接する私とは違い、がん化学療法看護認定看護師である副師長は、豊富な知識を基に適切な支援や助言ができたのです。ちょうど認定看護師を目指そうと決めた頃のこと、つらい治療に向き合う方を専門性で支えたいと強く願うようになりました。



やりがい② 先輩看護師の働きがいはどこに？

「専門性」を追求したその先に…



畑中 のはら

ICU
(集中治療室)
2021年度入職
神戸市看護大学卒

看護師だけに見えるものを見逃したくない

どんなことにやりがいを感じますか？

入職時に希望したICUに所属しています。1人でできる仕事が増えてきましたが、2年目に入った頃、急性期医療に関わる自信をなくした時期がありました。知識も技術もまったく追いつかないからです。でも、ひどく落ち込まずに済んだのは、悩んでいる若手をみんなで引き上げてくれる職場の気風のおかげだと思っています。先輩はもちろん師長も話し相手になってくれ、私には相談できる人がこんなにたくさんいるのだと気づきました。教育担当の先輩には、仕事をしながら勉強する方法を教えてください、資格取得の意欲も湧いてきました。

集中治療室には同期の仲間が5人いて、つまづいた体験をお互いに共有し、次はもっとうまくやろうね、とモチベーションを高めています。一般病棟に戻った患者さんから「おかげでリハビリができるようになったよ」などと聞かせていただくと、自分たちが工夫した看護がうまくその人に届いたのだと実感できて、本当にうれしいですね。

自分が成長したと思うことは？

人工呼吸器をつけた患者さんを見ていた時のことです。言葉で伝えてもらえないので、苦痛も取り除いてあげられません。なんとかして患者さんの気持ちを聞き取ろうと、筆談で

時間をかけて話を伺ったのですが、その方が「ありがとう」と書いてくれたとき、内面を理解することの大切さと難しさを痛感しました。

患者さんとの関わりの中で、見えていることが全てではないということが分かるようになりました。患者さんの言葉にならないメッセージを見逃したくないし、1番近くにいる私たちには患者さんの思いを上手に聞き取り、医師に伝える役割があると思っています。

今後病棟のリーダーに就くことになるので、自信を持って適切に動けることを増やし、人間的にも成長して、患者さんの気持ちを読み取る力をつけたいです。



信坂 佳美

皮膚排泄ケア認定看護師
特定行為研修修了
2009年度入職
国立病院災害医療センター附属昭和の森看護学校卒

プロの知恵を結集し最善を尽くす

東病院で経験を積み、皮膚排泄ケア認定看護師の資格を取りました。以前は一般的な総合病院に勤めていましたが、この病院に来て良かったと思うのは、プロ意識の高い看護師が多く、相談しやすい環境があること、他の職種専門家たちと知恵を結集して、ベストを尽くせることです。例えば褥瘡の発生した患者さんが家に帰りたいという時に、希望をかなえるためには何が問題で、何が必要なか知恵を出し合います。医師から相談を受けることもあり、責任は重いですが、最善を尽くすことに意義を感じます。どのような環境でどんな人たちと働かば、自分の成長にとっても重要だと感じています。



猪狩 匠

7B病棟
(肝胆膵外科、肝胆膵内科、大腸外科、
泌尿器・後腹膜腫瘍科、婦人科)
2015年度入職
人間総合科学大学卒

データ分析に基づく看護を目指す

私にとって、成長のターニングポイントは副看護師長になったことです。立場が変わり、広い視野が必要になる中で、今、目指しているのはデータ分析に基づく看護です。例えば患者さんの転倒など現場で起きている事象の原因や傾向を分析し、改善プランに反映できれば看護の質は高まります。副看護師長になったことで自分の理想を実現しやすくなりました。看護研究が進む利点は、知識が体系化され、広く普及させることができることにあります。当院は大学院進学支援制度が充実しているので、進学を果たし、データを生かした看護の確立に挑戦したいと思います。



島津 昌子

通院治療センター
がん化学療法看護認定看護師
2014年度入職
千葉県立野田看護専門学校卒

「その人らしく生きる」を手伝う

今の職場は、24時間看護師がいる病棟と違い、患者さんが自らの意志で決断や選択ができるかによって結果が変わります。学生だった頃、どんな看護師になりたいのかを書いたのですが、私は「患者さんがその人らしく生きられるお手伝いができる看護師」と書き、今も原点になっています。ここで働くうちに、「その人らしく生きる」とは、病と闘いながらも自分の治療や暮らしを自らの意思で選択すること、それには根拠となる理由が必要で、私の役目は根拠となる知識を伝えることだと思ふようになり、がん化学療法看護認定看護師になりました。自分の原点を忘れず、これからもがんばります。



TSUKIJI-GINZA LIFE

最初は不安だけでしたが
寮に仲間がいるのは心強いです



千葉 莉々

15A病棟
(婦人腫瘍科、大腸外科、腫瘍内科)
2023年度入職
聖路加国際大学卒

寮は病院の敷地内にあるため、通勤時間は限りなくゼロに近いです。私は実家が埼玉なので1時間ぐらいで帰れますが、社会人生活も一人暮らしも初めてで、最初はとても不安がありました。何でも自分で解決しなくては行けない、でも、寮には相談できる同期がいて、今はやっていく自信が付きました。

寮の周辺にはスーパーやドラッグストアもあ

り、日常的なことは困りません。駅も目の前なのでとても便利です。私は、元々川や森が好きなのですが、近くに佃大橋という橋があって、その近くの河原はとてもんびりできます。

親元を離れる不安は誰でもあると思いますが、私も慣れてきましたし、同期には福岡や大分出身者もいるぐらいですから、きっと大丈夫だと思いますよ。



銀座も
徒歩圏です

築地市場駅
の入り口は
目の前です

▶ 福利厚生

- 休暇制度：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休業、介護休業など
- 社会保険：厚生労働省第二共済組合
- 職員宿舎：鉄筋コンクリート(RC構造)ワンルーム型
冷暖房完備、オートロック、管理人常駐
- 職員食堂：眺めの良いレストランと職員食堂あり。
日替わりランチやさまざまなメニューを楽しめます。
- 保育施設：24時間保育が可能
- 図書館：蔵書数約80,000冊、看護系雑誌19誌
- ユニフォーム貸与：白衣、ナースシューズ
- 育児支援：産前産後休暇、育児休業のほか、育児のための短時間勤務など、働きながら子育てするための支援制度を整えています。



職員宿舎



保育園



職員食堂



図書館



KASHIWANOHA LIFE

緑が多くゆったりした環境
駅もショッピングセンターも近くて便利です



秋吉 佑美

腫瘍内科・血液腫瘍内科・消化器内科病棟
2018年度入職
関西医療大学卒

寮は、病院から徒歩20分くらいの距離、柏の葉キャンパス駅や「ららばーと柏の葉」のすぐ近くにあり、一軒家のようなおしゃれな建物で、緑が多いのも気に入っています。一人暮らしは初めてですが、健康のためにがんばって自炊をし、ランチにはお弁当を持参しています。病院と寮の間にスーパーもあるので、買い物も便利です。

休日の楽しみは、同期や大学の友達と会うこと。今、どうい看護をし、どんな勉強をしているのかお互いの状況を話したり、悩みがあるときに励ましたり励まされたり、いつも話が尽きません。同じ寮には同期が大勢いて楽しいです。東病院には、とても優しく、尊敬できる先輩がたくさんいます。私もっと知識と技術を磨き、何でも教えられる先輩になれたらと思います。



大型商業施設も
そろっています

緑が多い
学園都市です

柏の葉T-SITE: 蔦屋書店を中核とした生活提案型商業施設、KOIL LINK GARAGE: カフェやレストラン、美容、健康など個性豊かな店舗が集まった商業施設

▶ 福利厚生

- 休暇制度: 年次有給休暇、リフレッシュ休暇、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休業、介護休業など
- 社会保険: 厚生労働省第二共済組合
- 職員宿舎: 鉄筋コンクリート(RC構造)、冷暖房完備
院内: ワンルーム型
院外: 病院・駅近隣に4か所の宿舎完備、バス・トイレ独立型宿舎を希望して入寮できます。
- 職員食堂: 眺めの良いレストランと職員食堂があります。
- 保育施設: 24時間保育が可能
- 図書館: 蔵書数約70,000冊、看護系雑誌16誌
- ユニフォーム貸与: 白衣、ナースシューズ
- 育児支援: 産前産後休暇、育児休業のほか、育児のための短時間勤務など、働きながら子育てするための支援制度を整えています。



職員宿舎



保育園



図書館



教育研修棟